

# 東近江市のまちづくり協議会

## 令和4年度 各地区の取り組み



共に



考え



共に



創る



# まちづくり協議会のあゆみ

## ◇東近江市の誕生

平成17年2月11日に1市4町(八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町)が合併。  
その後、平成18年1月1日に蒲生町・能登川町と合併し、現在の形になりました。

平田	市辺	玉緒	御園	建部	中野	八日市
9.60 km <sup>2</sup>	7.50 km <sup>2</sup>	11.90 km <sup>2</sup>	10.00 km <sup>2</sup>	4.20 km <sup>2</sup>	5.30 km <sup>2</sup>	1.90 km <sup>2</sup>
1,049世帯	1,672世帯	1,905世帯	3,689世帯	1,260世帯	3,334世帯	3,153世帯
2,924人	4,001人	4,832人	8,817人	3,062人	8,171人	6,168人
12自治会	14自治会	17自治会	21自治会	19自治会	25自治会	46自治会

総人口112,718人  
46,366世帯  
390自治会  
自治会加入率75.1%  
(令和4年10月1日現在)



南部	永源寺	五個荘	愛東	湖東	能登川	蒲生
2.20 km <sup>2</sup>	181.2 km <sup>2</sup>	16.26 km <sup>2</sup>	40.89 km <sup>2</sup>	26.53 km <sup>2</sup>	31.12 km <sup>2</sup>	34.64 km <sup>2</sup>
4,310世帯	1,908世帯	4,730世帯	1,614世帯	3,039世帯	9,236世帯	5,467世帯
7,864人	4,907人	11,713人	4,412人	8,260人	23,260人	14,327人
14自治会	36自治会	27自治会	23自治会	39自治会	55自治会	42自治会

## ◇まちづくり協議会の誕生

合併することにより、行政サービスの低下、各地区の個性や伝統文化が失われることが懸念されました。

そこで、市民が自主的に参加して、それぞれの地域課題を解決し、各地域の個性を活かしたまちづくりを行うため、東近江市の14地区すべてで「まちづくり協議会」が組織されました。

平成26年4月に「協働のまちづくり条例」が施行され、その中で、まちづくり協議会の位置づけ等も定められました。

まちづくり協議会は、まちづくりに包括的に取り組む団体として、また、行政の重要な協働のパートナーとして、ますます活躍が期待されています。

現在、14地区全てのまちづくり協議会が、各地区にあるコミュニティセンターを拠点として活動しています。



## ◇まちづくり協議会の設立日及びコミュニティセンター指定管理開始日

協議会名	協議会設立日	コミュニティセンター 指定管理開始日
平田地区まちづくり協議会	平成17年 12月23日	平成23年 1月1日
市辺地区まちづくり協議会	平成19年 2月25日	平成23年 10月1日
玉緒地区まちづくり協議会	平成18年 12月10日	平成24年 1月1日
御園地区まちづくり協議会	平成18年 10月21日	平成24年 10月1日
建部地区まちづくり協議会	平成18年 2月25日	平成23年 10月1日
中野地区まちづくり協議会	平成18年 12月9日	平成24年 4月1日
八日市地区まちづくり協議会	平成18年 12月2日	平成24年 4月1日
南部地区まちづくり協議会	平成17年 9月19日	平成23年 4月1日
永源寺地区まちづくり協議会	平成17年 9月30日	平成26年 4月1日
五個荘地区まちづくり協議会	平成18年 3月18日	平成25年 4月1日
愛東地区まちづくり協議会	平成17年 5月21日	平成24年 10月1日
湖東地区まちづくり協議会	平成17年 7月14日	平成24年 4月1日
(一社)能登川地区まちづくり協議会	平成19年 3月10日	平成24年 4月1日
蒲生地区まちづくり協議会	平成18年 11月18日	平成25年 4月1日

※ (一社)能登川地区まちづくり協議会は、平成25年4月1日に法人化されました。

## ◇東近江市協働のまちづくり条例（抜粋）

(まちづくり協議会)

第18条 まちづくり協議会とは、地区の課題解決と個性を生かしたまちづくりに取り組むため、多様な主体が参加して自主的に設置する地域自治組織をいう。

2 市は、次の各号の要件を満たすまちづくり協議会を、一地区について一団体を認定するものとする。

- (1) 地区自治会連合会等の多様な主体が参画し、地区のまちづくりに包括的に取り組んでいること。
- (2) 地区のすべての市民を対象としていること。
- (3) 民主的な運営を行うため、規約を定めていること。
- (4) 地区のまちづくりの基本方針等を定めた「地区まちづくり計画」を策定していること。

(5) 運営に当たる役員や代表者は、民主的に選出されたものであること。

(6) 運営の透明性が確保されていること。

3 市は、まちづくり協議会の認定後、前項に規定する要件を満たしていないと認めた場合は、改善を求めなければならない。

4 市は、まちづくり協議会の活動を尊重し、技術的及び財政的援助等の必要な支援を行うものとする。

5 市民は、まちづくり協議会の活動に積極的に参加し、相互の交流を深めながら協働するものとする。

6 まちづくり協議会は、地区の課題を解決するため、市及びその他の組織と協働してまちづくりを推進するものとする。

7 まちづくり協議会は、各地区コミュニティセンターをまちづくりの拠点とし、市と協働して運営するものとする。

## ● 平田地区まちづくり協議会

(愛称) ひらた夢回議

(テーマ、スローガン) 平田地区で、誰もが住み続けたい、住んでみたくなるまちづくり

【令和4年度】

設立日	平成17年12月23日	認定日(当初)	平成18年1月16日
コミセン 指定管理開始日	平成23年1月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<p>&lt;所在地&gt;東近江市下羽田 84 番地5 (平田コミュニティセンター内)          &lt;電話番号&gt;0748-22-1950 &lt;IP電話&gt;050-8034-1950          &lt;FAX&gt;0748-22-1950 &lt;e-mail&gt;hirata-co@e-omi.ne.jp          &lt;ホームページ&gt;http://hirata-yumekaigi.com</p>		
代表者	会長 増田 伊知郎	会員数	地区住民
会議・組織	<p>本会役員 会長、副会長3名、会計、事務局長、会計監事2名          評議委員会 自治会長12名          企画運営委員会 本会役員(会計監事を除く)、特別部会長、専門部会長          地域担当職員</p>		
予算等の概要	<p>&lt;一般会計&gt;まちづくり総合交付金:1,382千円/その他:249千円          &lt;指定管理会計&gt;          コミセン指定管理料:15,254千円/その他:1,346千円          雪野山歴史公園等指定管理料:3,680千円/その他:26千円          平田体育館等指定管理料:6,800千円/その他:2千円          &lt;業務委託&gt;地域子育て支援拠点事業運営委託料:5,144千円</p>		
情報紙の発行	<p>平田のみんなの情報誌「ひらたから」(A4版) 毎月発行          発行部数 1千部/月          主な内容 活動報告、行事案内、お知らせ 等</p>		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>■自治会連合会との合同研修会          「担い手不足解消へ、待たなし!」          をテーマに、地域活性化・まちづくり          コンサルタントの水津陽子氏を講師に          招き、合同研修会を行った。</p> <p>■史跡雪野山古墳周辺の環境整備          古墳見学者や登山者の利便性を高め、          雪野山の魅力向上を図るため、眺望確          保や説明看板設置、木製ベンチ設置、          散策路補修などを行った。</p> <p style="text-align: right;">雪野山山頂付近→</p>		
			
			

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

【若者定住】

- ・第15回水鉄砲合戦「世は戦国！雪野山夏の陣」  
新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となった。

【子ども・子育て応援】

- ・つどいの広場「すずかけっこ」の運営  
10月30日（日）すずかけっこ&げんきっこひらた  
コラボ事業でシャボン玉体験イベントを行った。
- ・「げんきっこ・ひらた」の活動  
小学生を対象に、夏祭りや映画会、クリスマス会、  
お正月あそび等の行事を行った。

【高齢者福祉】

- ・第5回ひらた健康教室の開催（60歳以上の男女）  
誰もが楽しめるスポーツや自宅でもできる体操  
などを体験した。
- ・命のバトン事業
- ・困りごとを支援するしくみづくり

【田園環境】

- ・第5回「平田の田園環境」写真コンテスト
- ・地域散策ガイド事業  
雪野山や瓶割山の里山保全団体と連携協力し、  
散策路等の維持管理を行った。

【地域活性化】

- ・万葉ロマンの香漂う雪野山を歩こう  
4月10日（日）山歩きイベントを開催
- ・蒲生野トレイル活用事業  
11月12日（土）第1回はじめての雪野山ト  
レイルラン教室を開催。
- ・季節の名所づくりプロジェクト  
2月26日（日）、6年生が卒業を前にして、  
雪野山歴史公園で、仲間と協力して桜を植えた。

【公園管理運営】

平成21年4月から雪野山歴史公園・華岳山公園の管理を行っている。

【平田体育館・平田グラウンド管理運営】

・令和元年度から指定管理者として、平田コミセンと一体的に施設の管理運営に努めている。



● 市辺地区まちづくり協議会

(愛称) 万葉のまち <sup>いちのへ</sup>市辺 (テーマ、スローガン) このまちで心豊かに住みつづきたい  
【令和4年度】

設立日	平成19年2月25日	認定日(当初)	平成19年3月1日
コミセン 指定管理開始日	平成23年10月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<所在地>東近江市市辺町 2391 番地 (市辺コミュニティセンター内) <IP電話/FAX>050-5802-3392 <e-mail>ichi-kyo@e-omi.ne.jp <ホームページ> http://ichinobe.sakura.ne.jp/wp/		
代表者	会長 須田 <sup>ちひろ</sup> 智廣	会員数	101名
会議・組織	役員会：7名(会長・副会長3名・事務局長・コミセン業務主任者・会計) 運営委員会：29名(役員・全自治会長・各種団体代表・各専門部部長) 専門部：広報部10名 自然環境部26名 地域活力部11名 歴史・文化部15名 減災・安全・安心部10名 健康・福祉部9名 こども健全育成部9名 まちづくり委員：86名 市福みらい会議：座長1名 減災連絡会議：座長1名		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金：1,455千円/その他：492千円 <特別会計>コミセン指定管理料：14,149千円/その他：1,800千円		
情報紙の発行	まち協広報誌 「万葉のまち <sup>いちのへ</sup> 市辺」(第59号・60号・61号・62号)年4回発行 <主な内容> 各部活動紹介・わが家の『ペット』紹介など コミセン広報誌 「市辺だより」毎月発行 ※両誌共に音声テキスト版発行 <主な内容> 事業開催の案内・各種活動の紹介など(特に、【市辺ふれあいフェスタ】 は初めて試みた事業であり、開催に向け号外を2回発行) Facebook 名称「市辺まちづくりセンター」/LINE 名称「市辺まち協&コミセン」		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などでPR できること	○指定管理…コロナウイルス感染予防の観点から、慎重な判断とコミセン利用の皆さんのご 理解協力の下、各種事業も8割程度実施できました。 ○組織運営…役員会、運営委員会の開催、専門部会等開催。年間の事業計画に基づき取り組ん でいます。2年間中止していた「ふれあい運動会」並びに「万葉フェスタ」を 統合して【市辺ふれあいフェスタ】として開催しました。 ○減災活動…自治連、自主防災組織、民生委員、地区社協の参加により「減災連絡会議」を 継続し、『避難行動要支援者』に対する個別避難計画の作成に取り組みました。 ○地域福祉活動…誰もが安心して暮らせる地域福祉のまちづくりを目指して「市辺の福祉を 考える“ <sup>いっしょく</sup> 市福みらい会議”」(第2層協議体)を各種団体と協働で取り組み ました。 ○蒲生野万葉資料整備活動 …船岡山のムラサキ植栽地案内看板を設置し、『蒲生野・万葉ロマンの会』 (蒲生地区まち協とのコラボ)による講演会や勉強会を開催しました。 ○まちづくり専門部会の事業活動 ・広報部 江州音頭「市辺歴史と蒲生野ロマン音頭」DVD&CD 作製 ・歴史文化部 歴史発見塾(第1回「勸請縄」・第2回「陸軍八日市飛行場」)、中山道を歩く (柏原宿～鳥居本宿)、「山の神」神事DVD作成、「皇居俯瞰之図」原画見学会 実施、蒲生野万葉短歌会の開催 ・自然環境部 コンポスト普及推進、園児招き「いも堀り」実施、ゴーヤ苗配布、講演会『楽 しみなながらできるエコアクション』を開催 ・健康福祉部 グランドゴルフ「第2回まち協会長杯」開催、ご長寿ふれあいサロンの共催 ・安全安心部 防災減災放送(毎月1日)、減災かるた出前授業、防犯パトロール、市辺ふれ あいフェスタでカルタ大会開催、わくわくこらぼ村にてワークショップ参加 ・地域活力部 ムラサキの栽培研究・ムラサキ苗木の頒布・案内看板設置 ・こども健全育成部 市辺ふれあいフェスタで「射的」ゲームを実施 子ども夢実現プロジェクト「ロックダンス教室」開催		

指定管理・組織運営・他団体との連携・まちづくり活動等の取り組み紹介

広報部

江州音頭で市辺バージョン制作  
「市辺歴史と蒲生野ロマン音頭」



DVD収録

自然環境部

園児招き「いも掘り」



「楽しみながらできる  
エコアクション」講演会



歴史文化部

市辺歴史発見塾 1

市辺歴史発見塾 2

「勸請縄」講演会

「陸軍八日市飛行場」講演会

「中山道を歩く（柏原）」

「皇居俯瞰図原画 研修」



勸請縄DVD



地域活力部

「ムラサキ苗の植栽」



減災・安全安心部

「減災かるた大会」



「蒲生野万葉短歌会」



「減災かるたの出前授業」



子ども健全育成部

「ドキドキ射的」



「ロックダンス教室」



健康福祉部

「グランドゴルフ大会  
第2回まち協会長杯」



蒲生野・万葉ロマンの会

（蒲生地区まち協とコラボ）  
「船岡山万葉ウォーク」



## ● 玉緒地区まちづくり協議会

(愛称) ハートフル玉緒

(テーマ、スローガン) 『自然と共生し、みんなで創る輝く玉緒』

【令和4年度】



設立日	平成18年12月10日	認定日(当初)	平成18年12月14日
コミセン 指定管理開始日	平成24年1月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	<p>&lt;所在地&gt; 東近江市大森町1030番地(玉緒コミュニティセンター内)          &lt;電話番号&gt;0748-22-6479 &lt;IP電話&gt;050-5801-6479          &lt;FAX&gt;0748-22-6479</p>		
代表者	会長 川越 慶次郎	会員数	まちづくり委員 55名
会議・組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会 会長、副会長5名(1名は当該年度自治会連合会会長) 事務局長(コミセン館長兼務)・会計・会計監事 2名</li> <li>・ハートフル玉緒自主防犯隊(143名)</li> <li>・運営委員会 役員・専門部代表者等(18名)</li> <li>・専門部会 広報部、環境整備部、歴史文化部、安全安心部、健康スポーツ部、福祉部、子ども健全育成部、地域活動部</li> </ul>		
予算等の概要	<p>&lt;一般会計&gt;まちづくり総合交付金:1,586千円/その他:1,378千円          &lt;特別会計&gt;コミセン指定管理料:14,051千円/その他:849千円</p>		
情報紙の発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの情報誌「ハートフル玉緒」カラー版 年3回発行 その他の月は2色刷りを発行。部数 1,500部</li> <li>・まちづくり協議会活動報告、文化・歴史・地域等の紹介</li> </ul>		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>&lt;まちづくり協議会活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① コミセンの指定管理に伴う、管理運営を行う。</li> <li>② 協議会が、自治連・各種団体と共に3大事業(夏祭り・スポーツフェスティバル・文化祭)の企画～運営を行っている。(夏祭りは中止。文化祭の飲食バザーは中止。)</li> <li>③ 「ハートフル玉緒自主防犯隊」による地域パトロールの実施。 自治連・各種団体が地域全体事業として、防犯・防災・安心の為に青パトカーによる巡回を実施。</li> </ol> <p>&lt;部会活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 環境整備部 里山整備、桜並木の整備、里山体験授業・里山保育の支援。</li> <li>② 歴史文化部 遺跡・伝統文化の保存継承。</li> <li>③ 広報部 地域の情報発信「ハートフル玉緒」発行、LINEでの情報発信。</li> </ol>		



## 令和4年度事業実施状況

① 夜桜ライトアップ 4月7日～9日  
大森町地先の蛇砂川沿いの桜並木をライトアップしました。



② 桜並木の整備 6月12日(日)  
10月16日(日)  
まちづくり委員十数名が、布引丘陵ウォーキングコースの桜の寄生木を除去し、カブト虫寝床用チップに加工しました。



③ 大森城址整備事業 9月25日(日)  
まちづくり委員とボランティアの15名により、城址内の草刈及び人形・案内看板の修理作業を実施しました。



④ 玉緒小学校4年生の「里山体験授業」  
11月15日(火)  
11月24日(木)  
里山広場において、薪割りや木を切る体験等を行い、里山について学習する里山体験授業を支援しました。



⑤ 文化講演会「最上氏大森陣屋」  
11月26日(土)  
最上氏大森陣屋についての講演と、その遺構を現地にて説明を行いました。



⑥ ハートフルコンサート  
12月4日(日)  
歌、バイオリン、ピアノ演奏のコンサートを実施しました。今年度は、コロナ対応として1回の定員を少なくし、1部2部の2回公演としました。



● 御園地区まちづくり協議会

【令和4年度】

設立日	平成18年10月21日	認定日（当初）	平成18年10月30日
コミセン 指定管理開始日	平成24年10月1日	認定日 （条例による認定）	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<所在地>東近江市五智町 351 番地 2（御園コミュニティセンター内） <電話番号・FAX> 0748-22-0503 <IP 電話>050-8034-0503 <e-mail>misono-c@e-omi.ne.jp（御園コミュニティセンター）		
代表者	会長 小梶 善治	会員数	地区住民全員
会議・組織	役員会 6人（会長、副会長、事務局長 会計、会計監事2名） 運営委員会 16人（役員、自治会正副会長、企画委員） 企画委員会 10人（会長、副会長、事務局長、企画委員） まちづくり会議（自治連役員、各種まちづくりの活動組織、市関係者など） 会議：総会1回、運営委員会4回、企画委員会8回、まちづくり会議1回 活動：防犯パトロール事業、子ども体験事業、学校支援事業、 健康寿命推進事業、ふれあい事業など		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金：2,013千円/その他：10千円 <特別会計>コミセン指定管理料：12,943千円/その他：207千円		
情報紙の発行	・広報誌【まち協みその】A4版4～8ページ 毎月発行 発行部数2,200部/回 まち協、自治連、コミュニティセンター、各種団体の情報紙として発行。 ・主な内容：まち協、自治連、各種地縁団体、ボランティアグループ、コミュニティセンターなどの活動紹介や講座PR、まちの話題など。		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	・ <b>まちづくり活動</b> ：2030年までのまちづくり計画を作成。御園地区で大切にしたい事を次の五つの基本方針として取り組んでいます。 1) 健康：健康で楽しいまちづくり 2) 子ども：子どもを軸に共に学び育つまちづくり 3) 高齢者：生き生きと暮らせるまちづくり 4) 防犯・防災：安心して暮らせるまちづくり 5) 交流：交流でにぎわいあふれるまちづくり また、やりたいこと、できることで活躍できる地域となるよう関係者間のネットワーク構築を進めており、次々に生まれる小さな思いやアイデアを育てるため、コミュニティセンターを中心に活動支援の体制を強化しています。 今年度の新しい取組：①外国籍の方の多い地域であり日本語を学んでいる子どもたちと地域のボランティアと一緒に勉強する場を定期的開催。②地域のいろいろな団体が手作り品の販売や体験コーナー等20のブースを出店しマルシェを開催（11/13）③未就園児の散歩に3団体が付き添いで参加、ふれあいイベントを開催 ・ <b>組織運営</b> ：御園地区まちづくり会議を開催、地域で活動するすべての団体が集まり、活動の共有や意見交換をする全体会議として、テーマごとに役割分担や協働について意見交換を行うことで良いコラボレーションが生まれています。 ・ <b>指定管理</b> まちづくり協議会と自治会連合会の事務局をコミュニティセンターが担う事でコミュニティセンターをまちづくりの拠点とした活動が出来ています。		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

令和4年度活動紹介

1 御園地区まちづくりの推進

- 1-① 御園地区まちづくり会議の開催    1-② ICTを活用したまちづくりの取組み    1-③ まちづくり動画の作成



令和4年12月4日(日)開催

『御園地区のICTを活用したまちづくりに関する調査』アンケート集計

令和5年1月実施

問2. メンバー数を教えてください。

1～5名	3	ちびっこ園遊園(仮定)
6～10名	5	1日遊(日本社会福祉士(保健師)人権福祉(現とみどり)「チヤオ」)
11～15名	4	「おきな」老々委員会44名(原基本園)「原基本園」
16～20名	1	「ちよこ」の園めぐ(ちよこまん)
21～25名	2	成成園(はなふゆ)
26～30名	2	「原基(マリス)」
31～100名	1	「原(チト)」
100名以上	1	「GG」
回答団体数	20	

問3. 団体メンバーは貴団どのようなICT機器を多く利用していますか。該当するものに○をつけてください。

1	パソコン	5	スマホ(持ち歩き)
2	タブレット	1	
3	携帯メール(スマートフォン)	13	LINE(持ち歩き)

令和5年1月アンケート実施



みそのいいね! 御園地区まちづくり活動紹介

令和5年8月広報にてまちづくり活動の動画を紹介

1-④ 広報誌活動



広報誌「みその」の作成

2 健康寿命を延ばす活動(健康専門家会議)



令和4年6月15日(水)「正しい姿勢と歩き方レッスン」を開催



令和4年8月17日(水)「認知症予防のための認知症講座」を開催

3 子ども体験・交流事業



令和4年10月14日(金) 花とみどりのサークルさんと御園小学校の児童と一緒にさつまいも掘りを実施



令和4年10月21日(金) ちびっこサークルでもさつまいも掘りを実施



令和4年12月3日(土)「かきみそのCIAOのクリスマス2022」を開催

4 子どもを支える活動



令和5年1月6日(金) マナビーみそのによる冬休みの日本語・学習支援を実施

5 防犯ボランティアパトロール隊



毎週火曜日・木曜日に御園地域防犯ボランティアパトロール隊による地区内パトロールを実施

6 仲間づくり



令和4年9月16日(金) ウォーキングサークル(ちいきんぐグループ)に付き添ってもらい、ちびっこサークルの五智町内へのお散歩会を開催

7 地域ふれあい事業



令和4年3月30日(水) 愛知川河川敷広場グラウンドゴルフ場にて「サクラまつり」を開催



令和4年10月9日(日) 運動会に替わるイベント健康フェスティバル「みんなで近くの名所まで歩きましょう会」を開催



令和4年11月13日(日) みその市(マルシェ)を開催

## ● 建部地区まちづくり協議会

(スローガン)『支え合い、助け合いの郷づくり』

【令和4年度】

設立日	平成18年2月25日	認定日(当初)	平成18年3月2日
コミセン 指定管理開始日	平成23年10月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	<所在地> 東近江市建部日吉町 31 番地 (建部コミュニティセンター内) <電話番号・FAX>0748-22-0303 <IP 電話>050-5801-0303 <e-mail>tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 渡辺 康雄	会員数	個人会員 62名、団体会員 10団体
会議・組織	評議委員会 18名(自治会長) 運営委員会 15名(地域団体代表者、まち協役員) 役員会 16名(会長、副会長x3、事務局長、会計、部会長x4、コミセン館長、地域担当職員x5) 専門部会 4部会(環境美化、歴史文化、健康福祉、広報企画) 会員の範囲(建部地区に居住する全住民で構成) ・個人会員(本会の趣旨に賛同し、参加する個人)62名 ・団体会員(自治会連合会及び本会の趣旨に賛同する地域団体)10団体		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金 1,230 千円/その他:913千円 <特別会計>コミセン指定管理 13,982 千円/その他:2,074 千円		
情報紙の発行	地域の身近な情報誌として「建部だより」を毎月1回発行(年12回) A4版4頁(カラー) 発行部数 1,000部/回		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<ol style="list-style-type: none"> <li>まち協役員および推進体制             <ol style="list-style-type: none"> <li>役員会は16名で構成します。(地域担当職員5名を含む)</li> <li>役員会の活性化 役員会を毎月第2火曜日に開催します。議論を活発化させ、効率良く行うため、会議資料を充実させています。</li> </ol> </li> <li>自治連、各地域団体との連携             <ol style="list-style-type: none"> <li>自治会連合会の会長がまち協の副会長に就任することで、自治会連合会との連携を深めています。</li> <li>10の地域団体長とまち協役員が、まち協の運営に関し定期的に協議します。</li> <li>まち協の企画・運営および総会提出議案について意見を求めるため、全自治会長で構成する評議委員会を必要に応じ開催します。</li> </ol> </li> <li>定期総会を3年ぶりに集会形式で5月25日に開催しました。</li> <li>研修事業の推進 まち協および地域団体関係者が毎年まちづくり研修を行っています。今年度は福井市防災センターで地域防災を学びました。(7月9日)</li> <li>コミュニティセンターの指定管理の進捗状況             <ol style="list-style-type: none"> <li>指定管理の開始から12年目を迎え、地域住民の身近な施設として、また地域の皆さんに気軽に利用していただくため、開かれた施設運営を目指して取り組んでいます。</li> <li>コミセン裏側の樹木の伐採を行い、館内が明るくなりました。</li> </ol> </li> </ol>		

## まちづくり活動等の取り組み紹介

### 1 建部里まつりの開催

河辺いきものの森で里まつりが3年振りに開催され、親子連れら多くの人で賑わいました。  
木のジャングルジム、ターザンロープ等の遊びや体験コーナー、ランチ等を楽しみました。



建部里まつり

### 2 環境美化事業への取り組み

- ①植栽箇所及びポケットパークの草刈、コミセン前庭の剪定作業を年2回実施しました。(6月18日、10月1日)
- ②生ゴミの減量化を図るため、ダンボールコンポスト講習会を開催しました。(9月17日)
- ③愛知川左岸堤防のごみ拾いを実施しました。(12月4日)
- ④サツマイモを植え、建部幼稚園の園児にプレゼントしました。(10月24日)



サツマイモを園児にプレゼント

### 3 歴史文化事業への取り組み

- ①聖徳太子薨去 1400 年記念参画事業として、瓦屋寺プロジェクトを立ち上げ、参道整備事業に取り組んでいます。(期間は令和3年11月～令和5年10月の2年間)
- ②地域に残る歴史と文化を次世代につなげるため、昭和56年開催の建部祭りの上映会を開催しました。(2月18日)
- ③歴史探訪として、聖徳太子創建の奈良法隆寺を訪問しました。(3月4日)



瓦屋禅寺参道整備

### 4 健康福祉事業への取組み

- ①子ども見守り活動の一環として、毎月2回、3カ所でもち協会による交通立番を行っています。
- ②チャリティゴルフ大会を開催し、チャリティ募金を建部地区社会福祉協議会に寄附しました。(5月26日)
- ③健康寿命を延ばし、高齢期を元気に楽しく過ごせるよう、「たてベロコモ健康教室(6回)」を開講し、気功体操や軽スポーツを楽しみました。
- ④建部ふるさとウォークを開催し、参道(石段)を登って瓦屋禅寺を訪問し、紅葉を楽しみました。(11月26日)



建部祭り上映会

### 5 広報活動への取り組み

建部の歴史と文化、コミセン、まち協、各地域団体の活動状況を広く知ってもらうため、「建部だより」を毎月発行しています。



子ども見守り活動

### 6 まちづくり懇談会の開催

建部地区の課題に対して、東近江市幹部のみなさんと建部自治連およびまち協役員が意見交換を行いました。  
(11月9日)

- 7 3年振りに、たてベサマーフェスタ(7月24日)、町民祭(11月6日)を実行委員会形式で開催しました。



建部ふるさとウォーク

### 次年度以降を見据えた取り組み

#### 1 まちづくり活動の裾野を拡げるための取り組み

「まちづくりのために何かをやりたい」と思っている個人やグループに対し、まちづくり協議会が人的および資金的支援を行う「まちづくり活動支援制度」を令和4年度より実施しています。

## ● 中野地区まちづくり協議会

(愛称) **なかのよいまち**

(テーマ、スローガン) 『みんなでつくる なかのよいまち』

【令和4年度】

設立日	平成18年12月9日	認定日 (当初)	平成18年12月14日
コミセン 指定管理開始日	平成23年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	<所在地>東近江市中野町 781 番地5 (中野コミュニティセンター内) <電話番号・FAX>0748-22-0154 <IP 電話>050-5802-2311 <e-mail>nakano-c@e-omi.ne.jp (中野コミュニティセンター)		
代表者	代表 小梶 猛	会員数	地区内全住民
会議・組織	○組織 役員26名(代表、副代表、事務局長、幹事、会計、会計監事) 運営委員24名(代表、副代表、事務局長、幹事、会計) まちづくり委員名約50名(自治会選出、公募委員、含む兼任) 総会構成人員名(まちづくり委員、自治会長、各種団体長、市担当職員) ○会議(運営委員会・円卓会議) まちあるきプロジェクト ○歴史探訪プロジェクト ○山と川保全推進プロジェクト ○50年森整備事業 ○広報委員会 ○椋の木保全プロジェクト ○地域福祉を進めるプロジェクト ○婚活事業 ○もろてーな市 ○西広場整備事業 等		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金: 1,738 千円/その他: 862 千円 <特別会計>コミセン指定管理料: 14,231 千円/その他: 744 千円		
情報紙の発行	中野地区まちづくり協議会広報誌(なかのよいまち)A4版4ページ 年4回(6・9・12・3月)発行、発行部数3,500部/回 <主な内容>地域に身近でホットなニュース、いま・むかしコーナー、特産品の紹介、サークル紹介、まち協事業、コミセン事業、関連団体事業、まち協総会報告等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>中野地区の総合的なまちづくりを目指して、まちづくり協議会の発足準備段階から続けてきた、毎月7日開催の「円卓会議」で語り合う場を大切にしています。本協議会のテーマである「みんなでつくるなかのよいまち」実現に向け、地域福祉の充実も目指し、地区社協と第2層協議体の運営や活動に力を注ぎ、本年度も自治会連合会やまちづくり委員、各種団体、福祉団体と連携した、「なかのよいまち大en会」や「なかの福祉のまちづくり座談会」を共催しました。</p> <p>今年度も、新型コロナウイルス感染症が収束しない中ではありましたが、整備を進めているコミセン西広場において「難病の人たちを応援する」わ音コンサートを開催し、地区内を中心に多くの地域住民の皆様にご来場いただきました。</p> <p>また、整備を継続している50年森において、10周年を迎える記念すべき事業として「ありがとう50年森フェスタ」を開催しました。当日は準備段階では雨が降って開催が危ぶまれましたが、ほぼ予定通りの「ステージショー・ワークショップ・マルシェコーナー」が無事開催できました。なお関連イベントとしてプレ&amp;ポストイベントも予定通り開催でき、多くの地域住民の皆様のご来場をいただきました。</p> <p>このような中、コミセン西広場においては地域住民の参加を得、整備事業の一環として「紫陽花の植樹」や、子供の居場所づくり「なかのごはん(子ども食堂)」の毎月開催、地域交流として「もろてーな市」の定期的な開催等、感染症対策をしっかりと行いながら地区内住民の皆様のご来場の向上や、地域の活性化に向けて様々な活動を行いました。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介



50年森整備  
10周年行事  
プレ・本イベント  
ポストイベント



↓毎月開催  
子ども食堂「なかのごはん」



↑顔みて しゃべって  
おすそわけ  
地域交流型マルシェ  
「もろてな市」






コミセン西広場の整備、活用とPR行事  
「わ音」コンサート・紫陽花植樹



● 八日市地区まちづくり協議会

【令和4年度】

設立日	平成18年12月2日	認定日（当初）	平成18年12月5日
コミセン 指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日 （条例による認定）	平成28年4月1日
事務所 連絡先	<p>&lt;所在地&gt;東近江市八日市町9番20号（八日市コミュニティセンター内）                  &lt;TEL・FAX&gt;0748-23-4120 &lt;IP電話&gt;050-8034-1141                  &lt;e-mail&gt;8comi920@e-omi.ne.jp &lt;ホームページ&gt;www.8comi920.online</p>   		
代表者	代表 浦根 悦夫	会員数	全住民が対象
会議・組織	<p>執行役員会 年2回（代表、副代表2人、常任理事4人、事務局長、会計、コミセン館長、地域担当職員）                  理事会 年2回（総自治会長6人、コミセン部会5人、プロジェクト部会11人、会員から3人、広報委員2人、地域担当職員）                  広報委員会 年4回（編集委員長1人、委員11人）                  プロジェクト：延命夢クラブ、箕作山麓里・山づくり、八日市冒険遊び場、花いっぱい、いきいきあったかサロン、子育て支援、八日市つながり、清水川湧遊、防災、歴史文化、まち鉄</p>		
予算等の概要	<p>&lt;一般会計&gt;まちづくり総合交付金：1,460千円／その他：405千円                  &lt;特別会計&gt;コミセン指定管理：16,413千円／その他：587千円</p>		
情報紙の発行	<p>八日市まち協だより A4版4ページ 年4回発行 発行部数2,400部／回                  主な内容：まち協の活動報告、わがまち探訪、きらり～この人～、八日市ピンポイント、各プロジェクトの活動報告、あれやこれや</p>		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などでPRできること	<p>歴史文化プロジェクトで作成した「八日市ふるさと絵屏風」は、アルプラザ平和堂の駅前通りに面した壁面にレプリカを貼付していただき、多くの方々に絵屏風を知っていただく機会が増えたことをうれしく思います。これをきっかけに八日市の昔の様子を再認識し、八日市のまちづくりの糧にさせていただけたらと思います。</p> <p>令和4年度に新しいプロジェクトが立ち上がりました。まちづくりと近江鉄道について考える「まち鉄プロジェクト」です。まちづくりはまず自分の住んでいる地域を知ることからと、まち歩きマップを作成中です。このマップを見て、近江鉄道を利用して八日市へ来る方が増えることを期待しています。</p> <p>八日市コミュニティセンターでは、コロナ禍で運動会を2年間開催することが出来ませんでした。この間、運動会の在り方について考えた結果、運動会に代わるスポーツイベントを実施することにしました。また、夏に開催していた子どもサマーフェスティバルと秋のコミセンまつりを融合したイベントを6月に開催するように計画中です。これらの事業は、コロナ禍でいったん立ち止まって考えることができました。定期的な事業の組み換えも必要かなと考えた次第です。</p>		



八日市地区まちづくり協議会は、現在12のプロジェクトを中心に活動しています。

### 箕作山麓里・山づくりプロジェクト

箕作山麓の自然環境の保全とハイキング道の整備。秋のハイキングでは瓦屋寺で庄禅体験をしました。



### 延命夢クラブ

延命公園にかつての賑わいを取り戻そうと、月1回剪定作業やプランターの植え替えをしています。



### 子育て支援プロジェクト

毎月1~2回、ほっすのひろばをコミセンで開催。未就園児と保護者のあそびと交流の場です。



### 清水川湧遊プロジェクト

その名のとおりきれいな清水の湧水川。皆さんの憩いの場として環境保全に努めています。



### 花いっぱいプロジェクト

町を花でいっぱいにしようというプロジェクト。令和6年度からは、東本町と終町で取り組みを続けます。



### 冒険遊び場づくりプロジェクト

基本は、自分の責任で自由に遊ぶ。毎月第3日曜日、大水公園で開催しています。



### まち鉄プロジェクト

近江鉄道を活かしたまちづくりを考えます。近江鉄道無料デイには、マンボの秘密と飛行機探検ウォーキングを実施しました。



East Rainbowに協賛して、コミセン駐車場でイルミネーションで飾りました。

### 歴史文化プロジェクト

平和堂の壁面に、八日市ふるさと絵屏風がパネル展示されました。また、ことし本店でも展示していただきました。



### 防災プロジェクト

防災プロジェクトでは、地震、風水害、火災などによる大規模災害に強く、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、講習会や情報交換に取り組みしています。



### いきいき あったかサロン

寝たきりや認知症を予防し、健康寿命を延ばすため、毎月1回第1金曜日にコミセンで開催しています。



### 八日市つながりプロジェクト

顔が見える八日市、声がかげられる八日市を合言葉に、毎月8日に「はちのひカフェ」をコミセンで開催しています。



## ● 南部地区まちづくり協議会

(愛称) ときめく南部(まち)

(テーマ、スローガン) 『誰もが笑顔で暮らし、活力あふれるまち』

【令和4年度】

設立日	平成17年9月19日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン 指定管理開始日	平成23年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成28年4月1日
事務所 連絡先	<所在地>東近江市沖野二丁目1番34号(南部コミュニティセンター内) <電話番号・FAX>0748-23-1573 <IP電話>050-8034-1573 <e-mail>nanbumachikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 森 基一	会員数	68名
会議・組織	役員会5名(会長、副会長2名、事務局長、会計)(内副会長1名は自治連会長) 運営委員会14名(役員、専門部会長(兼務有)コミセン館長、地域担当職員) 評議委員会30名(役員、地区内自治会長14名、各種団体長10名) 拡大運営委員会 運営委員全員 会員の範囲 趣旨に賛同する個人、各自治会からの推薦者、各自治会(団体会員)		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金:1,639千円/その他:1,329千円 <特別会計>コミセン指定管理料:14,242千円/その他:1,122千円		
情報紙の発行	1 まち協会員向けA4両面版広報紙「ホットニュース」毎月25日発行 事業日程並びに参加案内・イベント案内等 2 南部地区内総合広報紙「南部だより」毎月発行に実施事業案内及び地区内外の情報提供		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	まちづくり協議会の活動 1 地域住民間の交流と連帯 地域住民間の親睦や交流を図り、コミュニティづくりを進める。 ○南部まつり※1(6月)の協賛・南部みんなの秋まつり(11月)の実施 ○地域住民福祉活動計画の一環「ほっとまちカフェ」の運営(毎月7日) ○地域学校協働本部事業との連携「がくしゅう会の実施」 ※1 新型コロナウイルスの流行のため中止 2 地域問題の解決と住み良い環境づくり 安心・安全なまちづくり、住みよい環境づくりを進める。 ○再資源可能物(リサイクル品の回収) ○休耕田を活用し野菜栽培を通じて、地域の児童等とのふれあいを深める ○交通安全運動(交通安全立ち番 月2回)子ども達への挨拶運動 ○地域美化活動として毎月一回道路沿いのゴミ清掃 ○命のバトンの配布事業 3 コミュニティセンターの管理運営 コミュニティセンターを核としたまちづくりを進める。 ○コミュニティ(まちづくり)の核としてのコミュニティセンターの 管理運営		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1 コミュニティセンターの運営管理

- ・コミュニティセンター内外環境の整備、維持管理  
駐車場及びコミセンひろば（仮称）整備
- ・各種コミセン事業の実施  
社会教育、高齢者講座  
（スマイルセミナー他）  
家庭教育：青少年教育  
（なんぶっ子、すこやかキッズ）



2 少子高齢化時代に役立つ地域風土づくり

- ・老若男女が集える場づくり  
「ほっとまちカフェ」の開設  
※南部地区住民福祉活動計画協賛
- ・南部未来会議への参加
- ・命のバトン配布事業の推進



3 住みよいまちづくりの推進

- ・資源ごみの分別収集を推進し環境意識の向上と、  
再資源化の協力を進める
- ・あびこ（挨拶・美化・交通安全）活動の継続展開  
「南部地区、防災を考える会」の発足
- ・八日市南小学校芝生の維持管理活動  
（まち協と有志による支援活動）



4 男女・年齢を問わず皆が集い、学び趣味を生かせる場作り

- ・愛犬家による地域パトロール
- ・「ふれあい農園」（休耕田の活用）  
で野菜の収穫体験や子ども森で  
焼き芋体験（幼児園・南部こどもの家）
- ・「がくしゅう会」の開催  
長期休業の間2日程度、ボランテ  
ィアによる学習支援活動の実施
- ・粋生サロン、小物づくりを通じた生きがいづくり  
（文化祭での作品展示）



5 まちづくりビジョンの策定

- ・第2次のまちづくり計画(10年)を経て「第3次まちづくり計画」の策定について  
昨年度から継続した取り組みを行う。  
策定については、新型コロナウイルス  
の流行に伴い、多人数による検討会等  
は避け、まち協の運営委員を中心に市  
や地域の関係者による現状の分析と課  
題について協議し今後のビジョン策定  
を行う。  
また、南部だより等にて広報する。



（「まちづくり懇談会」にて、今後のまちづくりについて提起）

## ● 永源寺地区まちづくり協議会

(愛称) We Are The One “みんなでひとつ“

(テーマ、スローガン) 『里いっぱい 新呼吸 笑顔のまち えいげんじ』

【令和4年度】

設立日	平成 17 年 9 月 30 日	認定日 (当初)	平成 17 年 10 月 17 日
コミセン 指定管理開始日	平成 26 年 4 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 27 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	<所在地>東近江市山上町 1316 番地 (永源寺コミュニティセンター内) <電話番号>050-5802-9336 <IP 電話>0748-27-1974 <FAX>0748-27-1974 <e-mail>e-net6500@e-omi.ne.jp <ホームページ>http://members.e-omi.ne.jp/e-net6500/		
代表者	会長 福井 均	会員数	70 人
会議・組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会 (会長、副会長、監事) 5 人 …随時開催</li> <li>・運営委員会 (役員、部会長、各種団体長、会長が指名した者) …概ね 2 ヶ月 1 回開催</li> <li>・専門部会 (6 部会) …随時開催</li> </ul>		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金: 3,005 千円 / その他: 4,495 千円 <特別会計>コミセン指定管理料: 32,397 千円 / その他: 1,331 千円		
情報紙の発行	e- <b>NET6500</b> 年 6 回発行 A4 / 最大 12 頁 カラー (現在: No.106) (まちの話題、まちきょうだより、クローズアップ 他) e- <b>NET6500</b> 情報版 毎月発行 A4 / 4 頁 白黒 (現在: No.213) (イベント等告知、くらしのカレンダー、学校・園だより、コミセンだより他) <b>ホームページ</b> 随時更新		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PR できること	<p>「自らの地域は自ら考え自ら行動していく」を基本に、地区の伝統文化を再発見し継承していくと共に、次代を担う人材を地域の子育て団体と協力し、地域活力を生み出す、そんなまちづくりをめざしています。</p> <p>今年度はコロナ禍のなか、キッチンカーの出店等で何年ぶりの屋外事業も企画しました。但し、当日は感染症防止対策の取り組みに御理解いただいたうえ実施しました。</p> <p><b>○地域の良さを再認識し、継承していく取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千草街道を往く</li> <li>・大本山永源寺ライトアップ</li> <li>・きらり！えいげんじ再発見事業</li> </ul> <p><b>○環境にやさしいまちづくりへの取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭ゴミのリサイクル (ペットボトルキャップ、アルミ缶プルトップ、割り箸の回収)</li> <li>・大型金属資源回収 (東部、中部、西部の 3 会場にて)</li> </ul> <p><b>○情報紙などを通じ、地域連携を深め地域間交流の推進を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなのふるさと祭り (文化祭)</li> <li>・まちづくりフォーラム</li> </ul> <p>※地域固有の資源を活用して活動を行なうことにより、地域の良さを住民みんなで共有し、地域に対する誇りと愛着心の醸成に繋げていこう。</p> <p>より多くの住民の皆さんが参画しやすい組織にするため、事業やイベントを企画・運営することについて、各自治会や地区内各種団体等と連携を密にし、互いに協力し合い活動しています。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

・平成 26 年 4 月 1 日から永源寺コミュニティセンターを指定管理しており、コミセン事業と連携したまちづくりに取り組んでいます。(ふるさと祭り、まちづくりフォーラム等)

◎まちづくり協議会の活動

4 月 フィールドワーク「千草街道を往く」



5 月 総会



5 月 ごみゼロ大作戦



5、11、12 月 寄せ植え教室



7 月 みんなの夏休み



10 月 星空観察会



11 月 大本山永源寺ライトアップ



◎ 他団体と連携した活動

6 月 スポーツフェスタ



9、10 月 大型金属資源回収



10 月 まちづくり懇談会



11 月 みんなのふるさと祭り



11 月 永源寺みらい会議



2 月 まちづくりフォーラム



◎ まちづくり協議会の通年活動

リサイクル活動



情報紙の発行











● 五個荘地区まちづくり協議会

(愛称) GO!まち協

(テーマ、スローガン) 心イキイキはつらつと みんなが愉しむまちづくり

【令和4年度】

設立日	平成18年3月18日	認定日(当初)	平成18年3月23日
コミセン 指定管理開始日	平成25年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<p>&lt;所在地&gt; 東近江市五個荘小幡町318番地(五個荘コミュニティセンター内)                  &lt;電話番号&gt; 0748-48-7303 &lt;IP電話&gt; 050-5801-7303                  &lt;FAX&gt; 0748-48-6454 &lt;e-mail&gt; go-machikyo@e-omi.ne.jp</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">                       ホームページ                 </div> <div style="text-align: center;">                       Facebook  </div> <div style="text-align: center;">                       LINE  </div> <div style="text-align: center;">                       Instagram  </div> </div>		
代表者	会長 小杉 勇	会員数	地区住民全員
会議・組織	<p>役員会 7人(会長、副会長、事務局長、館長)                  運営委員会 22人(役員、相談役、各事業部正副部会長、有識者)                  事業部会 安心・安全部会9人、環境部会14人                  歴史・文化部会31人、地域福祉部会16人、情報誌部会7人                  自治会推薦まち協推進員48人                  地域担当職員9人、地域イベント協力隊87人                  構成員 五個荘地区に在住、在勤する全ての人と地域の活動団体</p>		
予算等の概要	<p>&lt;一般会計&gt; まちづくり総合交付金: 2,913千円/その他 2,887千円                  &lt;特別会計&gt; コミセン指定管理料: 30,142千円/その他: 4,158千円</p>		
情報紙の発行	<p>まちづくり情報誌「GO!まち協」 A4版8ページ 偶数月 6回発行                  発行部数4千部/回                  &lt;主な内容&gt; 特集、まちの話題、ひと・まち・団体の紹介、行事予定 他</p>		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>【重点施策】                  「五個荘地区まちづくり2030プラン」に掲げる「心イキイキはつらつと皆                  んなが愉しむまちづくり」の実現に向け、住民の声や創意工夫を持って取り組                  むとともに、常に地域のニーズに応え、五個荘地区の個性を活かしたまちづく                  りの実現を図ります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80%;"> <p>歴史・伝統・文化・観光のまちづくり</p> <p>健康・子育て・福祉のまちづくり</p> <p>人・地域とのつながり・人権・教育のまちづくり</p> <p>安心・安全・環境第一のまちづくり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ぼく「てんびん坊や」です。                      五個荘の                      パブリックキャラクター                      として活躍中です。</p> </div> </div> <p>【協働事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東近江トレイル実行委員会</li> <li>里山保全活動の3団体、健康推進団体と協働し、エコツーリズム事業の充実・観光事業の促進・地元経済の活性化を目指します</li> </ul>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

◆令和3年度ふるさとづくり大賞  
総務大臣賞 受賞

「一般社団法人 地域活性化センター」動画制作  
(令和4年7月)



◆五個荘地区総合防災訓練  
(共催：五個荘中学校)



◆防災視察研修

(共催:五個荘地区自治会連合会  
於：東大阪市消防局防災学習センター)



◆生ごみ減量化

ダンボールコンポスト講習会開催(年2回)



◆大型金属資源回収(年3回)  
(延べ96人ボランティア参加・9.6t回収)



◆五個荘ごみゼロウォーク  
歩いて健康まちをきれいに!!



◆まち協農園

小学生親子対象 さつまいも植付・収穫体験



◆中山道五個荘散策案内所

11月 中山道開通420周年祭開催



◆「GO!まち協」発行

100号発行記念 特別企画ロビー展



◆「第1回五個荘中央公園桜まつり」

共催：東近江市商工会青年部五個荘支部  
桜並木に250張の提灯を灯し桜を楽しみました。



ステージショー



エコマルシェ



フォトコンテスト  
会長賞

◆認知症・行方不明者早期発見 保護訓練

共催：五個荘地区自治会連合会



◆「てんびんの里ふれあい広場 2022」



ステージショー



芝生広場しゃぼん玉体験



模擬店

◆コミュニティセンター事業



ヨシ灯りづくり講座



ロビー展示  
みんなのひなまつり展

◆東近江トレイル実行委員会



整備の様子



箕作山コース  
秋ツアー



秋のプチアウトドア体験  
「ホットサンドづくり」



お正月寄せ植え講座



パンづくり講座



和菓子づくり講座

◆福祉・人権のつどい(命のつながり～ドナーから患者へ～)

共催:五個荘地区人権のまちづくり協議会・五個荘地区社会福祉協議会



## ●愛東地区まちづくり協議会

(愛 称) 愛の田園(まち) ネット

(テーマ) 『みんなで楽しく、誰もが好きと言えるまちに!』

【令和4年度】

設立日	平成17年5月21日	認定日(当初)	平成17年7月21日
コミセン 指定管理開始日	平成24年10月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<p>&lt;所在地&gt;東近江市下中野町 431 番地(愛東コミュニティセンター内)          &lt;電話番号&gt;0749-46-2270 &lt;IP 電話&gt;050-5802-8614          &lt;FAX&gt; 0749-46-2270 &lt;e-mail&gt;machineto@e-omi.ne.jp          &lt;ホームページ&gt;<a href="http://members.e-omi.ne.jp/machinet">http://members.e-omi.ne.jp/machinet</a></p>		
代表者	会長 藤関 明雄	会員数	個人会員 66 人、自治会会員 20 自治会、団体会員 6 団体
会議・組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員 8 人(会長・副会長・監事・事務局長・顧問)</li> <li>・運営委員会 24 人(役員・専門部会長・地域担当職員・支所職員等)</li> <li>・評議員会 22 人(自治会長) ・まちづくり委員 22 人(各自治会1名)</li> </ul> <p>【専門部会】広報部会、防災部会、地域ふれあい部会、花づくり部会、文化活動部会、福祉プロジェクト部会、イベントサポートプロジェクト部会、愛のまち交流プロジェクト部会・獣害対策プロジェクト部会</p>		
予算等の概要	<p>&lt;一般会計&gt;まちづくり総合交付金:2,638 千円/その他:2,634 千円          &lt;特別会計&gt;コミセン指定管理料:27,900 千円/その他:4,231 千円</p>		
情報紙の発行	<p>元気なまちづくり情報誌「愛の田園(まち)だより」          A4版 8ページ 毎月発行 発行部数 1,400 部/月          &lt;主な内容&gt;地域の話、イベント案内、各部会活動報告          コミュニティセンターの情報等</p>		
指定管理や組織 運営、自治連や 団体との連携、 まちづくり等で 特にPRできる こと	<p>愛東コミュニティセンターをまちづくりの拠点とし、愛東地区の住民、学校、施設、企業等と連携したまちづくり活動を行っています。今年度は、10 年を見据えたまちづくり計画の策定を行い、この計画策定は次年度も継続します。</p> <p><input type="checkbox"/> 重点活動</p> <p>(1) 若者が参加できるまちづくり計画の策定</p> <p>(2) 経田川周辺をキレイに!憩える場にするための活動</p> <p>(3) 地区内の学校等と連携し、子どもを大切にしたまちづくり活動</p> <p><input type="checkbox"/> 自治連及び行政による協働のまちづくり</p> <p>(1) まちづくり三者合同会議</p> <p>まちづくり協議会及び自治会連合会、行政が連携して、まちづくりを話し合いました。</p> <p>(2) 愛の田園<sup>まち</sup>づくり会議</p> <p>まちづくり協議会関係者、自治会連合会代表、行政等が地域課題の解決のために意見交換を行いました。</p> <p>(3) まちづくり懇談会</p> <p>市長等を囲んで、地域の課題や愛東の未来などについて話し合いました。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係機関との連携によるまちづくり</p> <p>マーガレットステーション、菜の花館、福祉モール、平和祈念館による連携により、互いの活動を通じてより一層魅力ある地区を目指し活動しました。</p>		



## 指定管理・組織運営・他の団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

### 【広報部会 ～毎月1回広報誌を発行！～】

毎月1回発行し、いろいろな場所へ取材に行き最新の情報を発信し、市民に愛されるよう地域に密着した広報誌を目指し活動しました。



### 【防災部会 ～震災に備えての準備は完璧です！～】

震災などで家屋の下敷きになった方を助けるための、命のバールを制作し、全自治会に2本ずつ配布しました。災害時に必要な「かまどベンチ」と「ぬかくど」を使って子どもたち対象の防災体験をしました。秋フェスタでは、防災啓発を行い、地元の方から提供された野菜で「野菜汁」を作りました。



### 【地域ふれあい活動部会 ～地域の皆さんに喜んでいただけるものを！～】

愛東のお出かけスポットとして、コミセン前にイルミネーションを飾り付けました。まち協サタのクリスマスプレゼントの実施や秋フェスタでの花火の打上げも行いました。

### 【花づくり部会 ～花いっぱいの愛東地区をめざして！～】

水やり省カプランターを各自治会に設置し、除草や肥料をやりながら、きれいな花が咲き続けるよう見回っています。中学生と一緒に花苗の植栽作業や国道307号三叉路の清掃活動やその緑地帯にイルミネーションも設置しました。



### 【文化活動部会 ～地域の皆さんのたくさんの作品を展示しています！～】

10月29日、30日にコミセン全館であいとう文化展を開催しました。小さな美術館では、地元の方の作品展示を行いました。

### 【福祉プロジェクト部会 ～地域の皆さんの健康・命の活動に取り組んでいます！～】

みんなで考える認知症第6弾（11月24日）を開催しました。命のバトン啓発活動として、命のバトンのゆるキャラを募集しました。

### 【イベントサポートプロジェクト部会 ～地域のイベントにたくさん出店しました！～】

COCOMUSU マルシェ（4月30日）、廣田木材さんのマルシェ（10月10日）、秋フェスタ（10月30日）などに出店しました。秋フェスタでは、中学生にも手伝ってもらいました。



### 【愛のまち交流プロジェクト部会

～北海道愛別町との交流を続けています！～

愛別町と愛東地区の特産品を送り合って、物産を通じて交流を図りました。手作り愛のまちバレンタインメッセージカードを子どもたちと一緒に作り、愛別町に送りました。



### 【獣害対策プロジェクト ～集落ぐるみの追い払い活動を支援しています！～】

担当課と連携し、地元による追い払いを支援する活動を行いました。

## ● 湖東地区まちづくり協議会

(愛称) 好きやねん湖東

(テーマ、スローガン) いきいき ほのほの あったか 湖東時間

【令和4年度】



設立日	平成 17 年 7 月 14 日	認定日 (当初)	平成 17 年 9 月 20 日
コミセン 指定管理開始日	平成 24 年 4 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 28 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	<所在地> 東近江市池庄町 495 番地 (湖東コミュニティセンター内) <電話番号> 0749-45-0950 <IP 電話> 050-5801-0950 <FAX> 0749-45-2049 <e-mail> suki-koto@e-omi.ne.jp <ホームページ> http://www.sukisuki-koto.jp/		
代表者	会長 小島 善雄	会員数	地区内全市民が対象
会議・組織	総会、理事会、運営委員会、まちづくり推進員会議 部会 福祉部会、広報部会、防災コミュニティ部会、みどり環境部会、 湖東企画部会 プロジェクト 湖東歴史文化 PJ、子育て支援 PJ、こどもいきいき PJ、 福結び PJ、音楽を聴こう PJ、映画製作 PJ		
予算等の概要	<一般会計> まちづくり総合交付金：3,884 千円 / その他：223 千円 <特別会計> コミセン指定管理料：31,347 千円 / その他：1,500 千円		
情報紙の発行	まちづくり情報誌「好きやねん湖東」 毎月 1 回発行 A4 版 4 面 発行部数 2,700 部 / 月 コミュニティセンターと共同編集 <主な内容> 表紙には地域のトピック写真とコメント、まち協や各種団体の活 動紹介や行事予定、暮らしや地域の情報、コミセン関係記事など		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PR できること	<p>◎ 各種団体との連携</p> <p>各自治会から 1 名ずつ選出されたまちづくり推進員と防災推進員に、まち協活動のお手伝いや、部会・プロジェクトのサポートをいただいています。また、自治連はじめ各種団体の代表には、理事会に加わってまちづくり全般へのアドバイスをいただいています。コトナリエやふるさとまつりなどイベントの実行委員会の他、あいさつ運動・青パト巡回・新入生通学路ウォークなど各種事業においても、各種団体と連携しながら進めています。</p> <p>◎ 人と人とのつながりを取り戻したい</p> <p>コロナ禍にみまわれて 3 年目となったこの年、大勢の集まるイベントにはまだ制限がかけられる中、少しずつではありますが日常に戻る方法を模索しながら活動を続けました。コトナリエは、ステージやバザーの規模を縮小し、その分期間を長くとることで、来場者の分散を図りました。ふるさとまつりも密を避ける工夫をして実施しました。他にも小規模のイベントを数多く実施することで、他の人とつながる機会を増やしました。地道な努力で、過去 2 年よりも、顔を出してくれる人の数が増えました。</p>		





## 湖東いこいこ広場

毎週火曜日と毎月第1日曜日、「いこいこ広場」として湖東コミセン別館を開放しています。様々な団体や個人によるミニ・イベントや相談会などを毎回実施。今年度は前年度の2倍、1,000人を超える参加者がありました！ そのうちのほんの一部を紹介します。



健康体操



ニュースポーツ



モルックに挑戦



スクエアステップ



レコードコンサート



カフェもやってます！



体力測定



俳句教室



発声講座



ギターコンサート



編み物

● 一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

(愛称) ホップ♪ステップ♪のとがわ

(テーマ、スローガン) 『住みよい 住みたい 住み続けたい 水車のまち 能登川』

【令和4年度】

設立日	*平成19年3月10日	認定日(当初)	平成19年3月13日
コミセン 指定管理開始日	平成24年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<所在地> 東近江市躰光寺町262番地 <IP電話>050-5802-2793 <FAX>0748-42-1556 <e-mail>notomatikyo@e-omi.ne.jp <ホームページ>http://notomatikyo.com/		
代表者	代表理事(会長) 藤居正博	会員数	265名
会議・組織			
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金: 5,415千円/その他: 450千円 <特別会計>コミセン指定管理 66,744千円/その他: 499千円		
情報紙の発行	■まちの情報紙「ホップ♪ステップ♪のとがわ」8,700部/回(全戸配布) A4版 6ページ(カラー4、モノクロ2) 偶数月 年6回発行 ■会員情報紙「のとまち協NEWS」毎月1日発行(280部)		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 在能登川小・中・高校と多彩で多方面な連携(その一部記載)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR能登川駅前を花で飾る「フラ輪プロジェクト」活動支援(小・中)</li> <li>・「防災教育」で、命を守るための災害発生時の備えと対処を伝授(小)</li> <li>・「びわ湖ホール声楽アンサンブル公演」オペラ「泣いた赤おに」に招聘(小)</li> <li>・Lighting Bell in NOTOGAWA イルミネーションの飾り付けに参画(高)</li> </ul> </li> <li>○ 住民の為の地域医療発展を願う「能登川病院をよくする会」活動を支援</li> <li>○ 能登川地区住民福祉活動計画推進会議「レコードカフェ」活動を企画支援</li> <li>○ 「防災マップ」を活用した「自治会ヒアリング」や「防災チェックシート」等、通年、地区の防災活動に果敢に取り組む。特に県の「地区防災計画策定推進モデル事業」の実施に市と連携して取り組む。12月に自治会連合会と「能登川地区防災研修会」を開催</li> <li>○ 自治会別の懇談(「まちカフェ」)を呼び掛け、課題に共に悩み考え解決へ</li> <li>○ 「栗見プロジェクト」(琵琶湖岸復活大作戦)で甦る琵琶湖岸実現へ5年目</li> <li>○ 能登川地区文化協会文化公演会「落語&amp;講演会」に協賛他、スポーツ協会等各種市民活動団体の事務局業務やその活動に支援や参画</li> <li>○ 「元気のつどい」はじめ、健康長寿を目指した健康推進諸活動実施。婚活も</li> <li>○ R3実施の能登川地区全住民アンケート結果を、自治会毎にフードバック</li> </ul>		

\*2013年(平成25年)4月1日法人化 \*2015年(平成27年)11月20日現コミセン竣工式

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介<写真で綴る活動紹介>

栗見プロジェクト 琵琶湖岸復活大作戦!!



高齢者の居場所づくり



フラ輪プロジェクト



能登川南小学校猪子山学習



トップアスリートに学ぶ「子どもスポーツ教室」



能登川病院をよくする会



県主催「地区防災計画策定推進モデル事業」  
参画リーフレット

能登川東小学校区  
地区防災計画素案  
(水害編)



能登川北小学校防災教育のお手伝い



聖徳太子薨去 1400年  
特別制作リーフレット

聖徳太子と猪子山三観音

聖徳太子と猪子山三観音の歴史と文化を伝えるリーフレット。猪子山三観音の歴史と文化を伝えるリーフレット。猪子山三観音の歴史と文化を伝えるリーフレット。



オペラ「泣いた赤おに」



● 蒲生地区まちづくり協議会

(テーマ、スローガン) 『このまちで心豊かに住み続けたいと思えるまちづくり』

【令和4年度】

設立日	平成18年11月18日	認定日(当初)	平成18年11月22日
コミセン 指定管理開始日	平成25年4月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	<所在地> 東近江市市子川原町 461 番地 1 (蒲生コミュニティセンター内) <電話番号・FAX>0748-55-3030 <IP 電話>050-8035-8437 <e-mail>gamomachikyo@e-omi.ne.jp <ホームページ>http://www.gamoyume.org/		
代表者	会長 西村 純次	会員数	(R5.1.1 現在) 14,352 人
会議・組織	総会 111 (自治会代表、自治会まちづくり委員、地域活動団体代表) 役員会 5 (会長、副会長、事務局長、会計、(監事除く)) 企画会議 14 (役員、委員会委員長、専門部会部長) 運営委員会 36 (企画会議メンバー、運営委員、自治連三役) (特別委員会) ・まちづくり計画推進委員会 14 ・広報企画委員会 6 ・ふるさと蒲生野川づくり委員会 8 (専門部会) ・ひだまり部会 8 ・ふれあい交流部会 15 ・エコランド部会 5 (他にモニター30) ・あかね部会 7 ・万葉ロマンの里づくり委員会 9 ・地域活性化部会 10 自治会まちづくり委員会 41 蒲生まちづくり会議(県議・市議、自治連、JA、商工会、行政、医療センター、各種団体、 コミセン、まち協 他)		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金:4,618 千円/その他:4,082 千円 <特別会計>コミセン指定管理:38,158 千円/その他:4,842 千円		
情報紙の発行	蒲生まち協の広報紙「がまチョコ」 A4版4ページ 毎月20日5,200部発行		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	年間の事業は、まちづくり計画を軸に、自治会連合会とまち協が両輪となり関係団体、企業 等と連携しながら活動を展開している。 1 自治連との連携強化 自治連・まち協合同研修会を開催 2 蒲生まちづくり会議の開催 蒲生地区の課題解決を図るため県議・市議、自治連、JA、 商工会、行政、医療センター、各種団体、コミセン、まち協他が情報共有、意見交換会 を開催 3 2030年蒲生の将来を目指し改定した「まちづくり計画書」の具現化を図るため、「(一社) がもう夢工房」と連携した取り組みをおこなっている(食の六次産業化、着地型観光、援 農隊) 4 「ガリ版伝承によるまちづくり全体構想」を関係団体、行政と協働の方向性を探る 「ガリ版伝承によるまちづくりの会」の開催 「ガリ版プロジェクト会議」を立ち上げ 5 「各種団体長会議」の開催 6 若者視点で蒲生を楽しむ若者を増やすアイデアの見える化を目的とし「若者会議」を開催		

## 指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

### 1 蒲生コミュニティセンターの管理運営を受託

### 2 本部事業

- ・「自治会連合会と研修・学習会」を協働で開催
  - ・「蒲生まちづくり会議」の開催 ・「各種団体長会議」の開催
  - ・「蒲生地区まちづくりフォーラム」の開催
  - ・「ガリ版伝承によるまちづくりの会」の開催
  - ・「大型金属性資源回収事業」の実施 ・「蒲生地区新年互礼会」の開催
  - ・「若者会議」の開催 ・「ガリ版プロジェクト会議」の立ち上げ
  - ・蒲生西小学校「蒲生の未来を提案しよう！」に参加
  - ・地域担当職員（地域担当職員ワークショップ等）、地域応援隊との連携
  - ・視察の受け入れ（2団体9名） ・オンラインによる視察（1団体）
  - ・「（一社）がもう夢工房」に参画
  - ・蒲生地区のイベント・事業に参加協力
- ※「蒲生あかね夏祭り」は事務局として参画、「いきいきあかねフェア」に参加、マックスクラブ&あかねっ子フェスタに協力



【ガリ版伝承によるまちづくりの会】



【大型金属性資源回収】

### 3 委員会活動

#### (1)まちづくり計画推進委員会

- ・まちづくり計画の中間年（2015～2030）にあたり、2020年に実施した会員アンケート内容の検討
- ・「心豊かに住み続けたい」への課題として、若者の人口減少を計数的に把握

#### (2)広報企画委員会

- ・広報紙「がまチョコ」毎月発行（幅広く情報発信及び情報収集）
- ・写真撮影会の実施

#### (3)ふるさと蒲生野川づくり委員会

- ・川づくり啓発活動の取り組み（のぼり、ポスター、チラシ等）
- ・日野川および佐久良川の現状調査の実施
- ・日野川および佐久良川モデル地区の「除草作業とゴミ拾い」作業の実施
- ・ふるさと美化「蒲生野の日」（第3土曜日）を定め、美化活動参加と意識向上の啓発



【まちづくりフォーラム】

### 4 部会活動

#### (1)ひだまり部会

- ・「蒲生地区減災研修会」の実施 ・「蒲生シェイクアウト2022」の実施
- ・安心、安全のまちづくり事業 ・命のバトン事業

#### (2)ふれあい交流部会

- ・まち協音頭、健康体操の啓発
- ・「わいが屋@せせらぎ」開催時に健康相談・食生活相談・血圧測定等の実施
- ・「健康づくり講座」、「非常時の食事」、「親子の栄養講座」の開催
- ・健（検）診啓発・拠り所創造事業へ参画

#### (3)エコランド部会

- ・健康野菜いっぱい運動 ・コンポスト（設置型・ダンボール）の普及
- ・ゴーヤカーテンの設置 ・市から生ゴミ減量化推進事業の受託

#### (4)あかね部会

- ・シニア世代の仲間づくり、生きがいづくり（応援塾・おしゃべりコーディネーター）・結婚活動支援（市結婚サポート連絡会に参画）・子育て支援・「まちのわ会議」開催・拠り所創造事業へ参画

#### (5)万葉ロマンの里づくり部会

- ・あいがもけんぶん塾（蒲生コミセンと協働で開催）に協力
- ・マックスクラブ（わくわくチャレンジ探検隊）への参加
- ・広報誌がまチョコに「がもうの話」を連載
- ・「蒲生野・万葉ロマンの会」に参画
- ・「（一社）がもう夢工房」と連携

#### (6)地域活性化部会

- ・特産新品種栽培管理（果樹植栽後の育成管理、収穫）
- ・コスモス栽培による見せる（魅せる）農業の実践
- ・「（一社）がもう夢工房」と連携



【新年互礼会】



【あかね夏祭り】



【除草作業とゴミ拾い】



【コンポスト講習】

いつも、いまも、これからも。

PIONEER CITY

# 東近江イズム。 HIGASHIOMISM

地の利、人の和、自然の恵み。  
まちを包むうるおい、にぎわい、ここちよさ。  
時代を変えてきた歴史への誇りを胸に、  
新たな時代を拓く人がいる。  
いつも、いまも、これからも。あなたとともに。

パイオニアシティ・東近江市

## 【東近江市概要】

- 面積 388.37 km<sup>2</sup>
- 人口 112,718 人
- 世帯数 46,366 世帯

(令和4年10月1日現在)



【発行】令和5年3月

527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町10番5号

東近江市総務部まちづくり協働課 TEL 0748-24-5623 <http://www.city.higashiomi.shiga.jp/>